



がんばれ

子育て日記

小学生の子どもが携帯電話を持ちたがっています…



近頃、小学生のお子さんから「携帯電話」をせがまれるお父さん・お母さんが増えているそうです。子どもの話では「クラスの半分はすでに持っていて、持っていないと友だち付き合いができなくなる…」という理由からのようです。

このようなことに対し、同じ小学生のお子様をお持ちの皆さんはどのように思われますか？

携帯電話は「まだ必要ない」と思う一方、「将来必ず必要になるものだから、今のうちから使い方に慣れさせておいてもいいのかも…」といった気もあったりしますよね。

近頃の携帯電話には「カメラ」や「ゲーム」、「インターネット検索」など、少し前まで考えられなかったような機能がたくさん加わり、ますます便利になっていますが、それだけに“落とし穴”も大きくなっているのかもしれません。

中でも、最近ではメールを使った「悪質な携帯サイト」で子どもが“トラブル”に巻き込まれる事件が頻発^{ひんぱつ}していて、こういった事件が起こるたびに「携帯電話でこんなことができるなんて知らなかった…」と保護者が途方にくれるそうです。なので、保護者自身が携帯電話の機能や特性を理解してないのに子どもに持たせるのは、ある意味“無責任”なのかもしれません。

また、最近の研究では、メールに夢中になっている人は“心の落ち着きを感じるようになる”ことが報告されています。そう考えると、携帯メールはまるで“麻薬”^{まやく}のようですね。暇さえあればメールの送受信をしていなくてはならない“メール依存症”^{いぞんしょう}になってしまうことも考えられるのです。

ですから、携帯電話を子どもに与えるのは“身体的・精神的に十分発達してから”の方が望ましいのではないかと思います。生身の感覚・感性、情緒^{じょうじょう}がきちんと育たないうちに、バーチャルな世界に子どもを踏み込ませるのは、“人間として大切な部分を欠落させることになってしまう”と言っても過言ではないかもしれません。

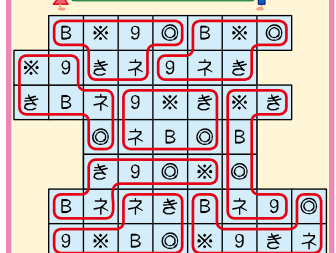
でも、おねだりしてくる子に頭ごなしに「まだ早い！」というだけでは、絶対に納得させることはできませんから、お父さん・お母さんが携帯を欲しがる理由に十分理解を示した上で、「なぜ今携帯を持つことに反対するのか」、「携帯などなくても友達との付き合いはできる」ということをきちんと説明することが大切でしょう。

また、親自身が迷ったりせず、「子どもは携帯を持つべきではない！」という“ブレない見識を示し続ける”ことも肝心です。それにより、子どもの不安を取り除いて、正しく豊かな感性が磨かれることにもつながっていくことでしょう。

お父さん・お母さんが反対の場合は、“**確固たる姿勢**”^{かっこ}でキッパリ諦めさせてあげてください。



クイズの答え



「クイズを解く前に答えを見ちゃだめだよ〜」